

**学習者自身で発音を直す教育**  
**ー自己モニターを活用した音声教育ー**

河野俊之（横浜国立大学 tkawano@ynu.ac.jp）

2011年9月 交流協会 日本語教育巡回研修会

音声教育について悩んでいませんか。

学習者の誤った発音に対して、モデル音声を繰り返させたり、発音の仕方を説明するだけでは、あまり効果がありません。

では、他に、どんな方法があるのでしょうか。

そこで今回の研修会では、自己モニターを活用した音声教育を紹介します。自己モニターを活用した音声教育では、教師が正しい発音を教え込むのではなく、学習者自身で正しい発音の聞き分け・言い分けの基準を考えます。例えば、「『タ』のほうが『ダ』よりも強い」などです。そのような、学習者自身が考えた基準に合わせて、聞き分けたり、言い分けたりしていきます。

自己モニターの能力は、音声教育だけでなく、学習者が自分で、文法の使い方や類義語の違いを考えるなど、様々なことに役立ちます。

当日は、台湾人学習者の問題点についても整理したいと思っています。

**10:00~12:00 <ワークショップ1・講義1>**

現在、一般的に行われている音声教育の問題点について考えていきます。それによって、音声教育の改善方法について考えていきます。また、台湾人の日本語発音の問題点についても整理していきます。

**13:00~14:30 <ワークショップ2・講義2>**

従来の音声教育方法とは異なる、自己モニターを活用した音声教育について解説します。

**14:45~16:15 <ワークショップ3>**

自己モニターを活用した音声教育を行う際の注意点について、考えていきます。また、ワークショップ内容を、実践に移す際の注意点として、実践を阻害する物について考えていきます。

**16:30~17:00 <振り返り>**

ワークショップと講義を通して得たことを振り返り、それを他の参加者と共有します。

## 10:00~12:00 <ワークショップ1・講義1>

現在，一般的に行われている音声教育の問題点について考えていきます。それによって，音声教育の改善方法について考えていきます。また，台湾人の日本語発音の問題点についても整理していきます。

### 音声教育の問題点

- 
- 
- 
- 
- 
- 

### 音声教育の実際

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

## 台湾人の発音の問題点

発音に問題があったものに印をつけてください。~~そのために、CDを聞くこともできます。~~

例 「 ぞうか/じょうか」を、「ぞうか」と読んだときは、「 ぞうか/じょうか」  
「じょうか」と読んだときは、「 ぞうか/じょうか」  
「のうか」等と読んだときは、「 ぞうか/じょうか」

1	<input type="checkbox"/> ぞうか/じょうか	<input type="checkbox"/> ずこう/じゅこう	<input type="checkbox"/> じょうか/ぞうか
	<input type="checkbox"/> かんぞう/かんじょう	<input type="checkbox"/> ぼうず/ぼうじゅ	<input type="checkbox"/> かんじょう/かんぞう
2	<input type="checkbox"/> きょう/きよう	<input type="checkbox"/> きやく/きやく	<input type="checkbox"/> きよう/きよう
3	<input type="checkbox"/> でんき/てんき	<input type="checkbox"/> どうし/とうし	<input type="checkbox"/> てんき/でんき
	<input type="checkbox"/> いてん/いでん	<input type="checkbox"/> はたいろ/はだいろ	<input type="checkbox"/> いでん/いてん
4	<input type="checkbox"/> つきです/すきです	<input type="checkbox"/> つうがく/すうがく	<input type="checkbox"/> すきです/つきです
	<input type="checkbox"/> まつい/ますい	<input type="checkbox"/> かつ/かす	<input type="checkbox"/> ますい/まつい
5	<input type="checkbox"/> つうしん/ちゅうしん	<input type="checkbox"/> つうきん/ちゅうきん	<input type="checkbox"/> ちゅうしん/つうしん
	<input type="checkbox"/> でんつう/でんちゅう	<input type="checkbox"/> につつう/にっちゅう	<input type="checkbox"/> でんちゅう/でんつう
6	<input type="checkbox"/> ほそいです/おそいです	<input type="checkbox"/> ひきます/いきます	<input type="checkbox"/> おそいです/ほそいです
	<input type="checkbox"/> きほん/きおん	<input type="checkbox"/> さくひん/さくいん	<input type="checkbox"/> きおん/きほん
7	<input type="checkbox"/> にせんえん/にせんねん	<input type="checkbox"/> あんい/あん(ん)に	<input type="checkbox"/> にせんねん/にせんえん
10	<input type="checkbox"/> ろうがん/どうがん	<input type="checkbox"/> れきし/できし	<input type="checkbox"/> どうがん/ろうがん
	<input type="checkbox"/> なれる/なでる	<input type="checkbox"/> こども/ころも	<input type="checkbox"/> なでる/なれる
11	<input type="checkbox"/> だきます/なきます	<input type="checkbox"/> でます/ねます	<input type="checkbox"/> なきます/だきます
	<input type="checkbox"/> ていでん/ていねん	<input type="checkbox"/> ほんどう/ほんのう	<input type="checkbox"/> ていねん/ていでん
12	<input type="checkbox"/> しょうきん/そうきん	<input type="checkbox"/> しょつき/そつき	<input type="checkbox"/> そうきん/しょうきん
	<input type="checkbox"/> かんしょう/かんそう	<input type="checkbox"/> かんしゃ/かんさ	<input type="checkbox"/> かんそう/かんしょう
13	<input type="checkbox"/> にゆうがく/りゆうがく	<input type="checkbox"/> にく/りく	<input type="checkbox"/> りゆうがく/にゆうがく
	<input type="checkbox"/> はねます/はれます	<input type="checkbox"/> そうなん/そうらん	<input type="checkbox"/> はれます/はねます
14	<input type="checkbox"/> がいしゃ/かいしゃ	<input type="checkbox"/> ぎんメダル/きんメダル	<input type="checkbox"/> かいしゃ/がいしゃ
	<input type="checkbox"/> きこう/きごう	<input type="checkbox"/> ようか/ようが	<input type="checkbox"/> きごう/きこう
15	<input type="checkbox"/> しじ/ちじ	<input type="checkbox"/> しかい/ちかい	<input type="checkbox"/> ちじ/しじ
	<input type="checkbox"/> かします/かちます	<input type="checkbox"/> おんし/おんち	<input type="checkbox"/> かちます/かします
16	<input type="checkbox"/> じかん/ちかん	<input type="checkbox"/> じんこう/ちんこう	<input type="checkbox"/> ちかん/じかん
17	<input type="checkbox"/> てちょう/てじょう	<input type="checkbox"/> ちょうちよ/ちょうじよ	<input type="checkbox"/> てじょう/てちょう
18	<input type="checkbox"/> ようしき/じょうしき	<input type="checkbox"/> やま/じやま	<input type="checkbox"/> じょうしき/ようしき
19	<input type="checkbox"/> おります/おります	<input type="checkbox"/> かう/かお	<input type="checkbox"/> おります/おります
20	<input type="checkbox"/> よそう/ゆそう	<input type="checkbox"/> ようき/ゆうき	<input type="checkbox"/> ゆそう/よそう
21	<input type="checkbox"/> こい/こえ	<input type="checkbox"/> いろいろ/えろえろ	<input type="checkbox"/> こえ/こい

## 13:00~14:30 <ワークショップ2・講義2>

従来の音声教育方法とは異なる、自己モニターを活用した音声教育について解説します。

### 自己モニター

学習者自身が自己のパフォーマンスのどこが問題であるかを認識し、妥当な発音基準を模索しながらそれをもとにした適切な自己評価を通して発音を自己修正する（小河原(2009)）

小河原義朗(1997)「発音矯正場面における学習者の発音と聞き取りの関係について」『日本語教育』92, 日本語教育学会, 83-94

韓国人日本語学習者について、「ぞ」「じょ」の言い分けが正しくできる学習者は、以下のような、教師から習ったわけではない、「独自の基準」を持って言い分け、また、聞き分けていることを明らかにしている。

「ぞ」「じょ」の言い分けが正しくできる韓国語話者の独自の基準

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 口の中で舌の位置を変える。</li><li>2. 「ぞ」は歯茎, 「じょ」はそれよりも広く舌をつけて発音する。</li><li>3. 「じょ」は舌が下がっている感じで発音する。</li><li>4. 「ぞ」は舌に力を入れ, 「じょ」は普通にする。</li><li>5. 「じょ」は力が入るが, 「ぞ」は入らない。</li><li>6. 「ぞ」は「ず」から「ぞ」へ, 「じょ」は「し」から「じょ」へ発音を移行させる。</li><li>7. 「ぞ」は「そそ」から「ぞ」に移行させる。</li></ol>  |
| <ol style="list-style-type: none"><li>8. 「ざ」は舌が歯の方に前でつく。「じゃ」は舌が下に向かう。</li><li>9. 「ざ」は舌が歯の方に前で舌打つ。「じゃ」は舌が口の上の中に接触した。</li><li>10. 「ず」は舌でのどを押す感じ。</li><li>11. 「ぞ」は引き上げる。</li><li>12. 「ぞ」は舌を下歯に置いて。「じょ」は舌を歯に置かないで。</li><li>13. 「ざ」は口を大きくして「あ」のようにする。「じゃ」は口を「い」みたいにして「じゃ」。</li><li>14. 「ざ」と「じゃ」= 「za」と「ga (zia)」</li><li>15. 「ぜ」は「●」と「●」の間。「じえ」は「●」の発音が出る（口の上にくっつく）。</li><li>16. 「ざ」を発音したときはなんだか首を引く感じ。「じゃ」はちょっと首を伸ばす感じ。</li><li>17. 「ぞ」は口を丸く, かたく・・・。「じょ」は顎を体の方に引く感じ。</li><li>18. 「ざ」は落とす感じ。「じゃ」は吐き出す感じ。</li><li>19. 「ぜ」は「せ」みたいにぜった。息をぜんぜん, ぜったい。</li></ol> |

8～は, 中村明夫(2011)「日本語教育における音声教育の実践報告」『別府大学日本語教育研究 (1)』より

「ぞ」「じょ」の聞き分けが正しくできる韓国語話者の独自の基準

- |   |
|---|
| 1. 「ぞ」は「ズ～」という雑音みたいなものが入るが、「じょ」はない。       |
| 2. 「ぞ」は音が止まる感じがし、「じょ」は摩擦的な音を感じられる。        |
| 3. 「ぞ」は急に終わる感じがするが、「じょ」は柔らかく滑らかに終わる感じがする。 |
| 4. 「ぞ」は口の中が丸く感じられる。                       |
| 5. 「ぞ」は英語の「Z」, 「じょ」は「J」のように聞こえる。          |

## 手順

### 1. 聞き分ける練習

1-1

1-2

1-3

ABのモデル音声を学習者に聞かせる。 ABのいずれかの音を提示し、AかBの札を上げさせる。 ABのいずれの音を提示したかを、ABの札で示す。

1-4

1-5

「独自の基準」を書き留めさせる。各自が考えた「独自の基準」を発表させる。

### 2. 言い分ける練習

2-1

2-2

2-3

学習者が、ABのいずれかの音を言う。 ABのいずれの音をつまもりかを、ABの札で示す。 ABのいずれの音に聞こえたかを、ABの札で示す。→

### 14:45~16:15 <ワークショップ3>

自己モニターを活用した音声教育を行う際の注意点について、考えていきます。また、ワークショップ内容を、実践に移す際の注意点として、実践を阻害する物について考えていきます。

### DOs & DON'Ts

聞き分ける練習

DOs	DON'Ts
1-1 <ul style="list-style-type: none"> <li>● チョーク、ペンで色を分けて板書する。</li> <li>● ペアで示す。</li> <li>● じゅうぶんに聞かせる。</li> <li>● 間を空けて、学習者を見ながら、ゆっくり聞かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● A, B とそれに対応する音を板書しない。</li> <li>● A, B の札を左右逆に持つ。</li> </ul>
1-2 <ul style="list-style-type: none"> <li>● モデル音声の出し方について配慮する。</li> <li>● いろいろな話者のものを聞かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 極端に発音する。</li> </ul>
1-3 <ul style="list-style-type: none"> <li>● コーラスとソロを使い分ける。</li> <li>● ソロの場合、順番を考慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習者が A, B の札を左右逆に持つ。</li> <li>● 完璧になるまで続ける。</li> </ul>
1-4 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習者に問いかける。</li> <li>● 「独自の基準」を考えさせる。</li> <li>● 「独自の基準」を書き留めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 聞き分けられていないときに、「独自の基準」作りを強要する。</li> <li>● 「独自の基準」を教師が先に提示する。</li> </ul>
1-5 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「独自の基準」を話し合わせる。</li> <li>● 「独自の基準」を発表させる。</li> <li>● 発表された「独自の基準」について、学習者にさらに問いかけ、明確にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「独自の基準」を書く前に話し合わせる。</li> <li>● 「独自の基準」を誘導する。</li> <li>● 教師が「音声学的におかしい」等と言う。</li> <li>● 「独自の基準」を勝手に解釈する。</li> </ul>

## 言い分ける練習

DOs	DON'Ts
2-1 ● まず、間を空けて、学習者を見ながら、ゆっくり聞かせる。	● いきなり発音させる。
2-2 ● 学習者にどちらかを言わせ、どちらを言ったかを札で示させる。 ● 考える時間をじゅうぶん与える。	● 発音するべき音を教師が示す。
2-3 (2-4, 2-5へ続く) ● 発音に問題がない場合、A, Bのどちらであるかを示す。 ● 発音に問題がある場合は、A, Bのどちらであるか、あるいは、A, Bの両方や、板書の×で示す。 ● 学習者同士で、活動を行う。  ● 学習者に問いかける。 ● 「独自の基準」を考えさせる。 ● 「独自の基準」を書き留めさせる。  ● 日本語や学習者の母語の発音に関する情報を集める。	● 判定を甘くする。 ● 音の変化に気づかない。指摘しない。

## 16:30~17:00 <振り返り>

ワークショップと講義を通して得たことを振り返り、それを他の参加者と共有します。